

「大腿骨近位部骨折患者における術後早期歩行能力と体成分分析装置指標との関連」について

1. 研究の対象

2025 年 10 月から 2026 年 3 月までに当院で大腿骨近位部骨折に対する手術を行った、認知機能に著しい低下を認めない方

2. 研究目的・方法

目的: 大腿骨近位部骨折患者さんにおいて術後早期のお体の筋肉量などを測る体成分分析装置(InBody指標)の結果と歩行速度との関連を明らかにすることとしています。患者さんに負担がかけずに評価できる体組成を理学療法評価として検討することで、術後早期の回復予測や理学療法介入対象の抽出に有用である可能性を示すことを意義としました。

方法: 当院で手術を実施した認知機能が良好な男女大腿骨近位部骨折術後患者さんに行っていた術後7日目前後の歩行速度、体成分分析装置(InBody)での体組成結果、血液検査データを電子カルテより収集し、関連を検討します。

研究期間は、病院長による承認後から2026年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者背景: 性別、年齢
- ・血液学的検査: Hb
- ・血液生化学検査: Alb、CRP
- ・Inbody(体組成指数): Phase Angle(PhA)、細胞外水分比(ECW/TBW)、体幹筋量、骨格筋指数(SMI)
- ・10m歩行テストの結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所: 磐田市大久保 512-3 場所: 磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科
Tel : 0538-38-5000 (代表) 研究責任者: 辻本青矢